



コンプレッサ内蔵タイプの屋外型窒素ガス発生装置「N₂ IMPACT II」(3.7kW機^⑤と7.5kW機)

コフロック株式会社（本社：京都府京田辺市草内当ノ木1-3、☎0774-621441）は、高性能なオイルフリースクロールコンプレッサの採用により、油分を徹底的に排除した衛生的な作動を実現し、メンテナンス周期の延長も可能にする事で、食品袋やパックへの窒素封入など食品製造ライン向けに普及が進んでいる。

コフロック 「N₂ IMPACT II」に 屋外型を追加！



同装置は、コンプレッサ内蔵タイプによる省スペース設計のため、工場構内に設置してもスペースをあまり取らないが、ユーザーからは工場の製造スペースを更に有効活用するために「屋外型」の開発要望が寄せられていた。

同社は、2018年に発売した屋外型ガス発生装置「GENE-BASEシリーズ」

前回の「FOOMA JAPAN」に出展した際のブース展示

外部エア供給機能を標準搭載し、内蔵コンプレッサ故障時に工場エア等でバックアップして装置稼働させる事が可能。装置内ドレイン

可能になった。屋根や筐体は防滴規格IPX3相当と堅牢で、雨水等の侵入を最小限に留める。吸気ダクトにダクトカバーを標準装備する一方、吸気ダクトには異物混入ネットを装備しており、屋外設置で入り込みやすい枯葉等の侵入を防止し、運転を継続する。屋根のボンネットには4点のアイボルトを装備しており、屋外の設置作業において同装置をクレーンで吊り上げる際に大変便利で、仮設案件にも対応可能。

また、窒素ガスの使用量が少ない時に使用流量に応じた省エネ運転が選べる。また、標準搭載の「エコモード」も標準搭載。窒素ガスの使用量に

ラインにヒーターも標準搭載しており、冬場のドレイン凍結を予防する。8・2インチタッチパネル搭載で操作もしやすく、運転状況や履歴確認も容易。筐体窓にはタッチパネル焼き付け防止のUVガラスを採用し、屋外の太陽光を遮断する役割も果たしている。

（8ホールで開催される、世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」への出展（ブース番号・5L152）が決まっている。会場にきた来場者限定企画として、同装置のデモ機（3・7kW機対象）予約を行うと、送料無料で貸し出すキャンペーン（北海道・沖縄・その他離島は除く）も実施する。

「N₂ IMPACT II」は、屋外型窒素ガス発生装置6月10日（火）～13日（金）の4日間、東京ビッグサイト東1

「資料請求番号S-4」

いる。「N₂ IMPACT IIシリーズ」はオイルフリースクロールコンプレッサ採用で油分を嫌う食品加工現場で採用が広がってきた。今回、屋外型を開発した事で、より幅広いニーズに対応できると考える。展示会は実際に製品を見てもいいながら、ユーザーの要望を直接聞ける貴重なチャンス。ユーザーの要望を満たせる様々な提案を行っていきたい」としている。

屋外型窒素ガス発生装置



GENE-BASE series

- 屋内・外設置型
- 45℃の屋外環境下で連続運転が可能
- 低騒音運転を実現
- N₂ガス+圧縮空気の同時供給対応
- 給油式スクリーコンプレッサ内蔵型



本製品に係る特許：第7149573
第7161725、第7188691



出力	7.5kW	11kW	15kW	22kW
N ₂ ガス発生量	7~30Nm ³ /h	10~41Nm ³ /h	15~56Nm ³ /h	23~95Nm ³ /h

コフロック株式会社 <https://www.kofloc.co.jp>

■本社・京田辺工場 〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木1-3
TEL：0774-62-4411 FAX：0774-63-5041

（製品に関する問合せ先）

■八幡オフィス・工場 〒614-8184 京都府八幡市上津屋八丁25
TEL：075-983-3500 FAX：075-983-3501

